



平成 24 年 1 月 13 日

各 位

会社名 レオン自動機株式会社
代表者名 代表取締役社長 田代 康憲
(コード：6272 東証第1部)
問合せ先 取締役兼執行役員 羽石 是之
(TEL. 028-665-1111)

子会社における製品の不正流出と見られる事案発生のお知らせ

今般、当社の連結子会社であるオレンジベーカーリー（代表者：小林幹央、本社：アメリカカリフォルニア州）において、製造した冷凍パンの一部を一部の社員が不正に流出させていた可能性が極めて高いことが判明いたしました。当社の連結子会社においてこのような事態が生じたことは遺憾であり、深くお詫び申し上げます。

記

1. 当該事案の概要

本件につきましては、平成 23 年 10 月、現地社員から、他の現地社員が不正に製品を出荷しているのを見たとの内部通報があり、在庫などを精査したところ、長期間に渡って製造した冷凍パンの一部不正流出が行われていたと見られる状況が判明しました。

外部の専門家のアドバイスを受けながら社内調査を行った結果、現時点で明らかになった不正流出と見られる額は、平成 11 年 4 月から平成 23 年 10 月までの期間に、概算で約 200 万ドルであります。

2. 当社グループの対応について

当該事案発覚後、弁護士と協議を行い現地捜査当局に被害届を提出いたしました。不正流出の確たる証拠が不十分なため、全容解明が難しい状況にあり、現時点では刑事告訴と民事訴訟提起による損害賠償請求などが出来ない状況にあります。

不正流出と見られる状況を長年に渡り発見出来なかった管理責任に鑑み、関係者の厳正な処分を実施いたします。

3. 再発防止策について

当社グループは、行動基準を定めコンプライアンスを経営の優先課題として活動に取り組むよう、全従業員に周知徹底を図ってまいりましたが、このような事態が発生した事を厳粛に受け止めております。今後は内部統制の見直しと定着を図り、下記のことを確実に実行することで、再発防止に努めてまいります。

具体的な施策

- (1) 権限を一人に集中させないよう、組織の変更と権限の分散を実施
- (2) 受注、生産、在庫、材料発注のシステムでの管理の徹底をするよう改め
チェック機能の強化を図る
- (3) コンプライアンスに対する社員教育の徹底を図る

4. 過年度の連結財務諸表及び平成 24 年 3 月期の業績への影響

当該事案による被害金相当額について、平成 23 年 3 月期までの過年度決算においては売上原価に計上されております。修正する場合はこの金額を売上原価から営業外費用に振り替えて処理することになり、売上原価が減少し、売上総利益と営業利益は同額増加するため、経常利益、当期純利益には影響がなく、過年度決算に与える影響は軽微と考えております。また、今年度決算においても第 2 四半期までの決算において同様の処理をしており決算に与える影響は軽微と考えております。

上記修正を行う場合、その他本事案に関して、開示すべき新たな事実が判明した場合や、何らかの決定を行った場合には速やかに公表いたします。

以上